

インマヌエル中目黒キリスト教会

2013年1月27日 聖日礼拝

総会礼拝に臨み

「それぞれの持ち場」

士師記 7章15 – 22節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

士師記 7 章 15-22節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp391/ 第三版の聖書はp427

- 15 ギデオンはこの夢の話とその解釈を聞いたとき、主を礼拝した。そして、イスラエルの陣営に戻って言った。「立て。主はミデヤン人の陣営をあなたがたの手に下さった。」
- 16 そして、彼は三百人を三隊に分け、全員の手に角笛とからつぼとを持たせ、そのつぼの中にたいまつを入れさせた。

- 17 それから、彼らに言った。「私を見て、あなたがたも同じようにしなければならない。見よ。私が陣営の端に着いたら、私がするように、あなたがたもそうしなければならない。
- 18 私と、私といっしょにいる者がみな、角笛を吹いたなら、あなたがたもまた、全陣営の回りで角笛を吹き鳴らし、『主のためだ。ギデオンのためだ』と言わなければならない。」

19 ギデオンと、彼といっしょにいた百人の者が、真夜中の夜番の始まる時、陣営の端に着いた。ちょうどその時、番兵の交替をしたばかりであった。それで、彼らは角笛を吹き鳴らし、その手に持っていたつぼを打ちこわした。

20 三隊の者が角笛を吹き鳴らして、つぼを打ち砕き、それから左手にたいまつを堅く握り、右手に吹き鳴らす角笛を堅く握って、「主の剣、ギデオンの剣だ」と叫び、

- 21 それぞれ陣営の周囲の持ち場に着いたので、陣営の者はみな走り出し、大声をあげて逃げた。
- 22 三百人が角笛を吹き鳴らしている間に、主は、陣営の全面にわたって、同士打ちが起こるようにされた。それで陣営はツェレラのほうのベテ・ハシタや、タバテの近くのアベル・メホラの端まで逃げた。

説教

総会礼拝に臨み

「それぞれの持ち場」

士師記 7 章 15-22節

竿代 照夫 牧師



主テキスト:

「三隊の者が角笛を吹き鳴らして、つぼを打ち砕き、それから左手にたいまつを堅く握り、右手に吹き鳴らす角笛を堅く握って、『主の剣、ギデオンの剣だ。』と叫び、それぞれ陣営の周囲の持ち場に着いたので、陣営の者はみな走り出し、大声をあげて逃げた。」

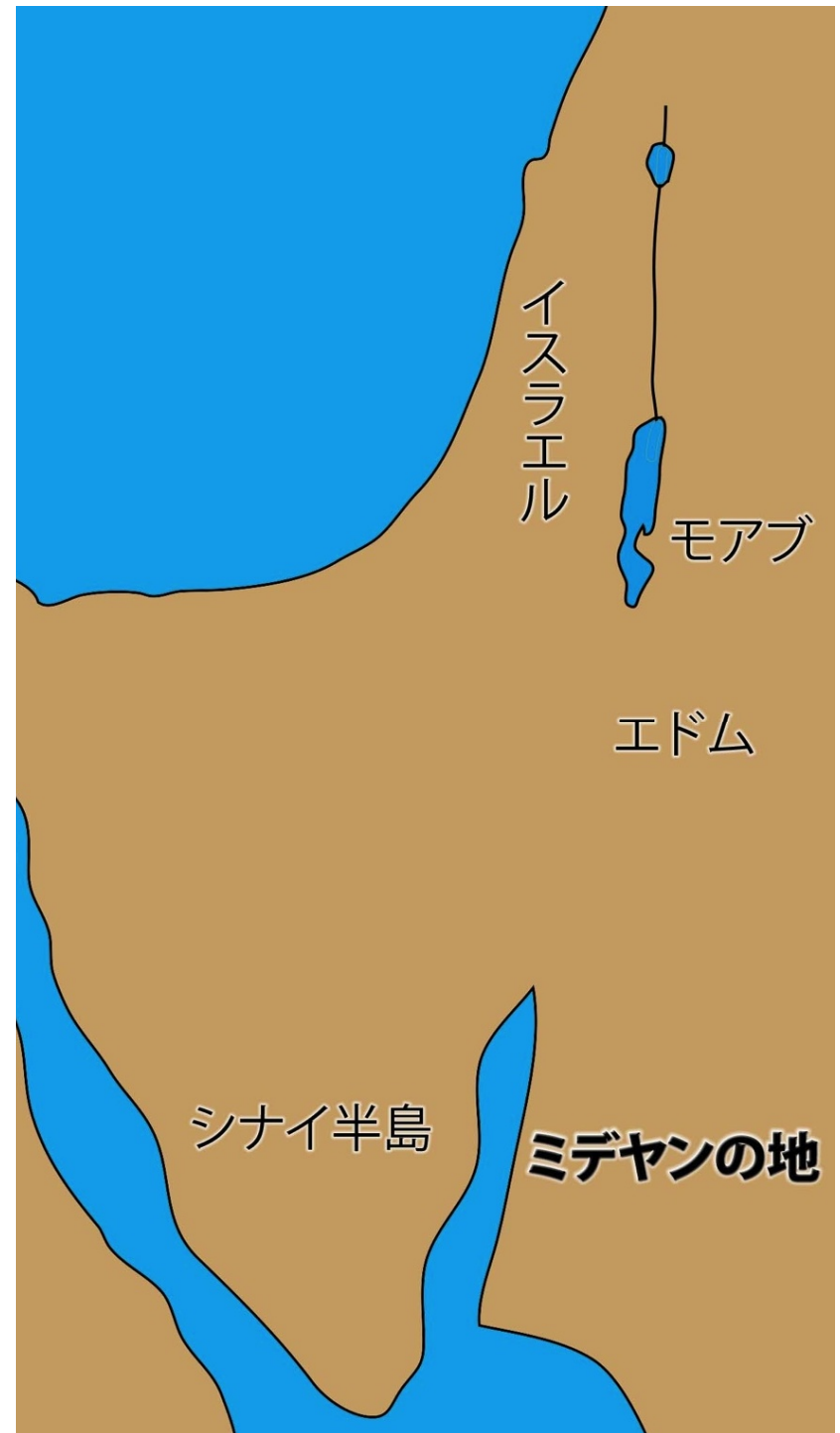
(士師記7:15-22)

A. 戦いの事情

1. ミデヤンの圧迫 (地図参照)

2. ギデオンの召命

- ・ マナセ族の一人
- ・ 臆病な若者
- ・ 主の召命で立つ



3. 三百人の絞込み

- ・キデオンの召集と応答
- ・軍隊をふるいにかける

$$32000 - 22000 - 9700 = 300$$

- ・手で水を舐めた(注意深い)
300人



B. 戦いの方法

1. 敵の意表をつく作戦

- 夜襲による混乱を目指す
- 大勢の攻撃のような「印象」

2. 適切な人事配置と行動

- 三百が等距離で
配置される
- 同時に松明を灯し、
角笛を吹く



C. 戦いの勝利

1. 敵の同士討ちと敗走

2. フォロアップの戦いによって

- ・多くの加勢

- ・参加しなかった人も

おわりに

1. 持ち場は何かを捉えよう
2. 持ち場をしっかりと守ろう